

■はじめに

「年年歳歳花相似たり。歳歳年年人同じからず」と言いますが、今回の人事異動で校長の顔ぶれも随分変わったように感じます。常に新しい風を入れながら、奈良市の教育も立ち止まることなく、進んでいきたいと思えます。

■立命館アジア太平洋大学卒業式のはなむけの言葉

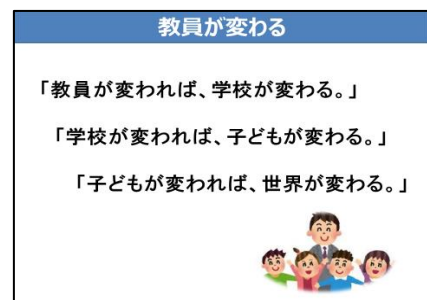
昨年の12月の校長会でも紹介した、立命館アジア太平洋大学学長の出口治明さんは、今年の3月、卒業していく大学生にむけて3つ、はなむけの言葉を贈りました。一つ目は「チェンジメーカーになってほしい」ということ。二つ目は「学びは一生続く」ということ。そして三つ目は「個性を徹底的に伸ばせ」ということです。



日に日に変化している世界の中で、学び続けなければ自分の知識は日々劣化していくと説き、チェンジメーカーになるためにも、不断の学びが必要だと、おっしゃっています。そして、尖ったままでいいので、個性を伸ばしてほしいと語り、“Go where nobody has gone, Do what nobody has done. (誰も行ったことがない所に行こう。誰もやったことがないことをしよう。)”とメッセージを送っています。このような人づくりに対する思いは、私が奈良市の子供に「ミネルバの梟^{*1}になってほしい」と願う気持ちと同じです。

■教員が変われば学校が変わる。学校が変われば子どもが変わる。子どもが変われば未来が変わる。

出口さんが話されたような、「チャレンジし、学び続け、自分の個性を伸ばしていく子供」を育てていくためには、学校がこれまで行ってきた教育を変えていく必要があります。そのためには、教員が変わらなければなりません。先生と子供が向き合っ、て、黒板と教科書、チョークとトークだけで行う授業だけでは通用しないのです。



しかし、現状を見ると、教員の多忙化や働き方改革が社会問題となっています。こうしたことを踏まえ、国では働き方改革関連法案が順次適用され、中央教育審議会の答申が示され、文部科学大臣のメッセージも出されています。(平成31年4月15日付奈教職第24号)文部科学省からは「学校働き方改革プロモーションビデオ」^{*2}として公開されています。

働き方改革の目的は、職員のこれまでの働き方を見直し、生き生きと働くことができる職場にすることで、子供たちの教育の充実、推進が行えるようにすることです。

プロモーションビデオで示されているポイントは、次の3つです。

- 1 教員が教員の仕事に全力投球できるような環境をつくっていく
- 2 徹底的に業務を見直す
- 3 効果的な教育活動ができるようにする

これまでは、「子供たちのため」という言葉のもとに、時間も惜しまず教員は働いてきました。しかし、教員が健康で元気に働く職場をつくっていくことができなければ、子供の教育の充実につながらないのです。

■校長のリーダーシップ

ベストセラーとなった本、『学校の「当たり前」をやめた。』（時事通信社）の著者工藤勇一校長（千代田区立麹町中学校）が取り組んだ学校改革も、そのスタートは、「将来子供が社会の中でよりよく生きていく」ための教育として、どのような教育をしたらいいのか、という視点で行われました。工藤校長は全教員で学校の課題を洗い出し、一つ一つの取組が本当に必要かどうかを検討し、解決していきました。

また、星野リゾートの経営者、星野佳路さんは、リーダーに求められるいくつかの条件の一つに、「多くの人に共感を得るコミュニケーション力」を挙げておられます。校長だけで考え、旗を振っても教員はついてきません。学校だけで進めていっても駄目です。保護者にも地域にも説明が必要です。しっかりと話して、理解を得るということが必要です。まずは、ステークホルダーとなる教頭や教務主任や学年主任等を集めて自分の思いをしっかりと伝え、そこで、共感を得ることが大切です。

また、二つ目に「事実を把握する」ことを挙げておられます。数字や事実をもって学校の実情を把握し、それに基づいて考え、自分の思いを伝えるということです。

三つ目には、「決めること」が大切だといいます。組織の構成員が一番ストレスを溜めるのは、リーダーが物事を決めてくれない時だそうです。リーダー自らが決断し、判断して進んでいくことが必要です。

改革を拒んでいるのは
「法律」や「制度」ではない
「人」である。

改革が進まないのは「法律」や「制度」ではありません。変わらない「人」がいることです。やらない理由はいくらでも見つかります。大切なのは、形骸化した制度に違和感をもち、やるべきことを地道にやることです。そのためにも、校長が教職員と共感できるコミュニケーションをとり、熱心に誠意をもって、働き方を改革していく。これは校長にしかできないことです。教育委員会も一緒に頑張

っていきたいと思っています。

*1 ミネルバの鼻・・・ローマ神話の女神ミネルバが従えている鼻であり、知恵の象徴とされる。

*2 文部科学省「学校の働き方改革」公式プロモーションビデオ

<<https://www.youtube.com/watch?v=yjpeh0e1PxE>>